



# 図書館だより1月号



2025年、令和7年は巳年。人間は昔からヘビにいろいろな意味を持たせてきました。日本神話ではスサノヲノミコトが倒したヤマタノオロチから始まり、白蛇は神様の使い、金持ちになるためのヘビの抜け殻、そのほかにもいろいろなところで描かれています。

西洋では医術に長けた存在として、あるいはキリスト教では悪魔の使いとして神話の題材になり、絵画や彫刻に取り上げられました。東南アジアではやはり神の使いとして、ナーガと呼ばれるヘビが天地創造の存在として語りつがれています。今年はそんな大事な存在のヘビに注目して、今までの自分をさらによいものにする DAPPI 年にしましよう！



大正13年『小学国史物語 5年 前』

「八岐大蛇の物語」

大正時代の小学校教科書に載った挿絵



世界の神話で  
ヘビを見つける



『世界の神様 解剖図鑑』

平藤喜久子 著 エクスナレッジ

『いちばんわかりやすいインド神話』

天竺奇譚 著 実業之日本社

新しい自分へ脱皮

『強く生きるノート 考え方しだいで世界は変わる』

KEIO MCC Intelligence Series



『きみを変える 50の名言』

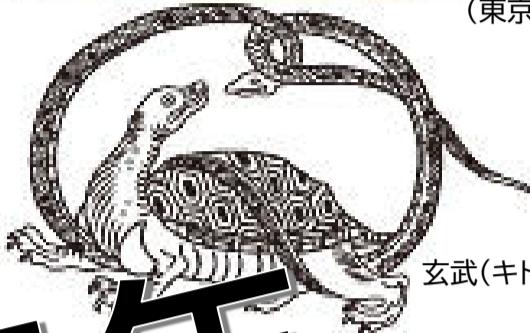


たった 1cm の差があなたの世界をがらりと変える』

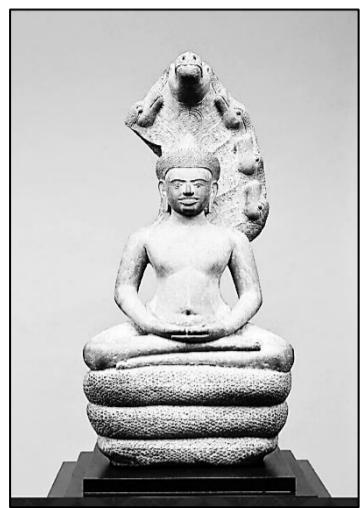
ヘビの脱皮は幼体時は2週間に1回程度らしい。でも、決まった間隔ではなく、個体差が大きいらしい。



ヘビが巻き付いた杖を持ったアスクレピオス  
(ギリシア神話から)



ナーガ上の仏陀坐像  
(東京国立博物館所蔵)



玄武(キトラ古墳壁画)

# 2025年 DAPPIの年!!

美浜町三尾

## アメリカ村文化講座

1月29日(水)

15:30~16:30

アスクレピオスの杖  
は世界保健機関  
(WHO) のシンボル  
マークにもなってい  
る。2匹のヘビが巻き  
付いた杖はカドウケ  
ウスという別の杖。

美浜町のアメリカ村保存や移民の歴史について活動されている方が来校してお話ししてくれます。語り部ボランティア Jr.の育成活動もされているので、中高生にもとっつきやすい内容の予定です。日高地方のこと興味がある人はもちろん、よく知らないな~と思っている人も、この機会に美浜町から始めてみませんか。

落語に出てくるヘビ



「そばせい」も「たのきゅう」も人間を丸呑みにする大蛇(ウワバミ)が出てきます。「夏の医者」では、登場人物が知らない間にウワバミの腹の中に入ってしまって、飲み込まなくても腹まで通るかのような、ヘビの形状から思い起こされる話になっていて、角度を変えると違う見え方がしてきます。

司書の編集後記

新しい年、始まりました。2024年はほんの数週間前のことなのに、ずいぶん前に感じます。新しい年を迎えるなら、去年のことはされいさっぱり水に流してしまって、新たな気持ちで前だけ向いていきがちですが、こんなことではいけませんね。忘れてはいけない大切なこと、たくさんありました。世界のあちこちで未だ収束しない混乱、国内で引き起こされた数々のひどい事件、災害、思い起こすとのほほんとした気分も吹き飛びます。話は戻って、読書について。年末に読んでいて、年始の忙しさでしばらく置いておいたら、内容をすっかり忘れていてガックリした、ということはありませんでしたか。私はまさにそうでした。何日か空けてしまうと、10ページは遡って読み直さないと、あれ?どうやったっけ?あれ?この人誰やつたっけ?とつぶやくだけで一向に思い出しません。一気に読み進める体力もなくなり、今年は初詣で神様に「世界平和」と「まとまった読書の時間」を願いました。とはいって、時間は自分で作り出すもの、今年の目標は本を読む時間を毎日確保する、自分のやりたいことのために睡眠を削らない、にしました。

皆さんは若い力で記憶を呼び覚ますのも簡単にできることでしょう。できるうちに、その力があたりまえのうちに多くのことにチャレンジして、一段上のステージを目指してください。今年は DAPPI の年です。